

2011 年度 中央大学特定課題研究費 一研究報告書一

所属	法務研究科	身分	教授
氏名	山田 八千子		
NAME	Yachiko YAMADA		

1. 研究課題

(和文) 法曹教育に関する基礎的考察

(英文) A preliminary consideration about the nursing system of legal profession (“Hoso”)

2. 研究期間

2年間

3. 研究の概要（背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600 字程度、英文 50word 程度）

(和文)

近時の司法制度改革の一つは、法曹養成制度の改革である。この新しい法曹養成制度の特徴は、法科大学院制度を中核として、法科大学院教育、司法試験および司法修習が有機的に連携したプロセスとしての法曹制度の導入であり、法科大学院が重要な役割を担っているといわれているが、理論教育と実践教育の架橋のあり方については十分に確立されていない。本研究は、こうした背景をふまえ、日本における法科大学院教育の意義を検討するという目的に基づいて、司法制度改革の根本にある法の支配を実現する担い手としての望ましい法曹養成教育について分析検討するものである。この目的遂行のために、本研究では、民事法教育を中心として、日本の法科大学院教育の実態を多角的に調査すると共に、比較法的な調査を行った。本研究は、法的思考における要件事実論および事実認定論に関する法科大学院と研修所との果たす役割をどのように分担すべきかを検討し、法科大学院において、従来の実定法の体系的理論教育だけではなく法曹に対する習練型の教育をおこなうことの必要性とその方法を明らかにした。また、法曹の職域の拡大についても検討し、たとえば裁判の場面のみならず立法過程において専門知としての法曹の果たす役割の可能性などを分析、検討した。比較法的な調査では、オーストラリアの ANU での調査をおこない、法曹に対する IT を通じた実践教育について関係者に調査をおこない、実地見学をした。本研究の成果発表の一部は、以下に示されているが、今後、法曹の有する専門知のあり方に関わる論稿等について更に成果発表する予定である。

(英文)

My research is about a movement of the nursing system of “Hoso” in Japan. The Justice System Reform (JSR) introduced a new nursing system of “Hoso” (judges, prosecutors and attorneys). Law School system should play important role in the system. The theoretical education should strengthen linkages with the practical education in law school.

4. おもな発表論文等（予定を含む）

<p>【学術論文】（著者名、論文題目、誌名、査読の有無、巻号、頁、発行年月）</p> <p>山田八千子、民法（債権法）改正過程と立法過程の在り方—立法の哲学の視点から—、 『立法学論集』第3巻所収予定（2014年3月出版予定）</p>
<p>【学会発表】（発表者名、発表題目、学会名、開催地、開催年月）</p> <p>山田八千子、民法(債権関係)改正動向の法哲学的考察、本学術会議法学委員会立法学 分科会報告、2011年6月4日、早稲田大学</p>
<p>【図 書】（著者名、出版社名、書名、刊行年）</p>
<p>【その他】（知的財産権、ニュースリリース等）</p>